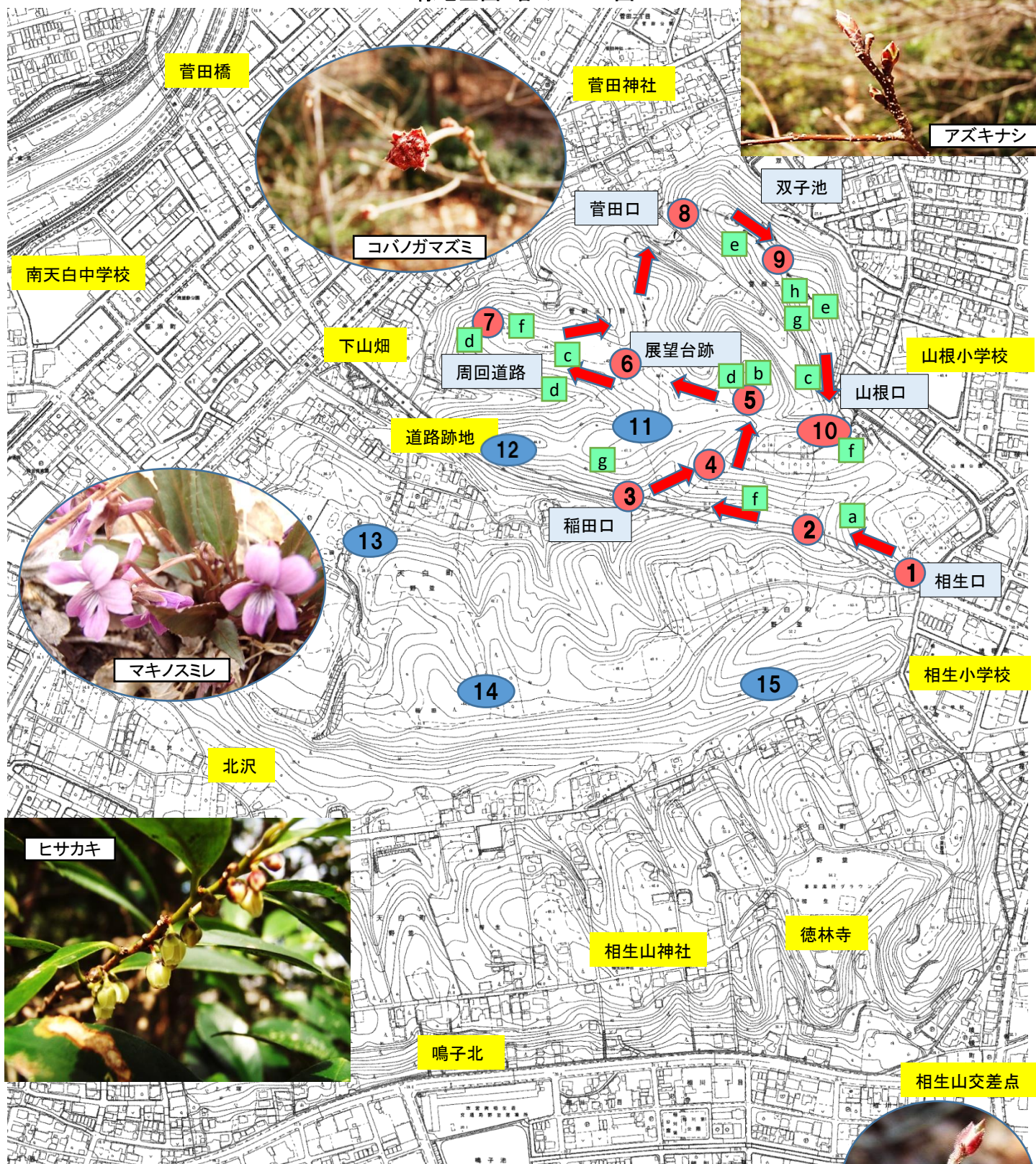




緑地全図 春のコース図



1	相生口	6	ターミナル	11	ガマズミ道	a	ヤブツバキ(藪椿)	f	ヤマザクラ(山桜)
2	ヒメササギの谷	7	市街地展望	12	シェルター上	b	マキノスミレ(牧野堇)	g	ヤマコウバン(山香ばし)
3	ギャップ	8	アベマキ坂	13	ゴルフ場北	c	ネジキ(振木)	h	アズキナシ(小豆梨)
4	ツツジ道	9	北尾根	14	果樹畑跡	d	ウスノキ(臼の木)		
5	広場	10	シンボルコナラ	15	南部竹林	e	ザイリホク(栗振木)		



お花見しませんか
 相生山の桜めぐり **特別企画**
3月26日(日) 10じ～13じ

4月9日(日) 9:30～ 希望者は午後も！
 春の遠足 北から南へ 爛漫の森を歩こう

連絡先(古川)

tell/fax: 052-821-6463

ケイタイ: 080-5124-6463

e-mail: viva_forest@yahoo.co.jp

ホームページ: ラブリーアース → 検索

去年と比較

相生山の四季を歩く会 2017.3 資料



ウスノキ(臼の木)

早春の森で

2016.3.13



コナラ(小櫓)



ネジキ(捻木)



ザイフリボク(采振木)



アズキナシ(小豆梨)



ヒメカンアオイ(姫寒葵)



ミヤマガズミ(深山莢迷)

ヒサカキ(姫榊)の花



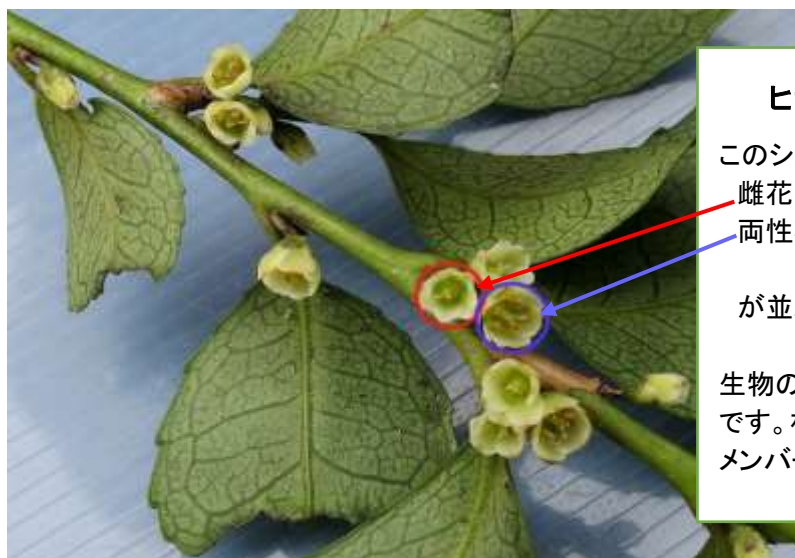
雌花



両性花



雄花



ヒサカキの「不思議」

このシュート(枝)には
雌花……雄しべは退化
両性花……雌しべ雄しべ
ともに存在
が並んで咲いています。

生物の多様性を実感させる姿
です。相生山の四季を歩く会の
メンバーが見つけてくれました。

2017年2月23日

名古屋市長 河村たかし様

相生山の四季を歩く会事務局 田中眞理
ラブリーアース Japan 事務局 古川善嗣
名古屋市南区豊 4-22-10 tell /fax052-821-6463

相生山緑地を「自然を大事に」して「世界の AIOIYAMA」とするための提案書

1. 来年（平成 29 年）度予算について。

道路事業廃止のための作業が進められていると認識しています。土木交通委員会でも意見があったように、道路に供するための構築物や構造物などへの維持管理等の予算は不必要であると考えます。よろしく精査、検討下さい。

2. 市民への説明・意見聴取について。

市長の英断を支持するものです。しかし、「世界の AIOIYAMA」は、地元など相生山緑地に関わる人びとのみならず、広範な市民や、全国から注目する、より多くの人びとの理解や支持を得て初めて、実現する力を得ると考えます。

市長の現任期中に「相生山」での実践結果を広く示す意味からも、市民の声を聞くことをも含めた「経過説明会」の設定を提案します。

3. 長期未整備公園緑地の事業着手に関連して。

市の「緑の基本計画 2020」や「長期未整備公園緑地の都市計画の見直しの方針と整備プログラム」が示され、平成 29 年度末までの第 1 期事業着手が公表されています。

相生山緑地内の土地所有者や周辺地域の人びとの意識調査を一部試みましたが、市の方針とは乖離があり、「名古屋市に願いは届いていない」との声が多く聞かれました。

「世界の AIOIYAMA」を目指す上で、この面での課題克服は必須であると考えます。

前項と合わせて、市民への、さらなる説明や意見聴取の機会が必要と思われます。

4. 「自然を大事に」の基本姿勢について。

自然は、相生山の森（樹林地）は、そこに存在しているだけで意味があると考えます。人が利用しようとしまいと、人の利益になるかならないか、に関係なく。なぜなら、ヒトは自然（森）の中から生まれ、自然の中にある「いのち」をいただいて初めて生存し続けることが出来ているから。子どもたちは、自然（森）の「たくさんのさまざまないのち」を感じて、いきいきと成長していきます。

自然（森）をどう利用するか、などという小さな話にとどまらず、「自然とともに生きていく名古屋市政の在り方」を未来に発することを求めます。

以上

世界の「AIOIYAMA」プロジェクト検討会議（第7回） 会議記録	
日時	平成28年11月15日（火） 10時00分～10時35分
出席者	会長（市長）、副会長（副市長）、委員（横田防災危機管理局長、中田市民経済局長、渡邊観光文化交流局長、山本環境局長、杉山健康福祉局長、佐藤子ども青少年局長、黒田住宅都市局長、三輪緑政土木局長、山田天白区長、佐藤消防長）始め 計18名
発言者	内 容
事務局	本日は、お忙しい中、『世界の「AIOIYAMA」プロジェクト』のためにお集まりいただき、誠にありがとうございます。これより、第7回検討会議を開会します。
事務局	<p>それでは、土木交通委員会の決算認定審議において、委員から本プロジェクトに対するご質問やご意見をいただきましたので、報告します。平成27年度決算においては、経費支出の必要性や市長方針などについて、ご質問やご意見をいただきました。それらに対して当局からは、「<u>自然を大事にするという大きなテーマの中で、キャンプ場やユニバーサルデザインなどについて、どこまでやっていくのかというところが、公園を考えていく上で一番大事なことだと考えている。</u>一つひとつのパーツをいかにこなしていくって、全体をまとめあげていくのかというのが、これまでやったことがない経験のことであるが、取り組んでいきたい」といった趣旨の答弁をしました。また、決算の認定に際して、民進党から「弥富相生山線について、工事中断後の維持管理費は、本来使わなくてよい費用であると考えられるので、検討会議において市民、専門家の意見をしっかりと聞きながら、できる限り速やかに検討を進めるよう努めること」とのご意見をいただきました。</p>
事務局	<p>それでは、続いて、議題3の「要望・提案等」について、資料8を用いて説明します。</p> <p>資料8をご覧ください。本年の3月に開催した第5回検討会議で、このような要望・提案などを約半年間分をご紹介しましたが、今回、その後の8ヶ月間にいただいたものを資料8にご紹介しています。要望書などの原本の写しも付けていますので、参考にご覧いただきたいと思います。</p> <p>これらの要望・提案などは、相生山で活動をされている団体や個人の方、又、天白区を住みよくする会の皆様などからいただいています。合計で10件あります。</p> <p>内容としては、<u>弥富相生山線の道路事業廃止のための都市計画手続きを速やかに進めてほしいというものが多くありました。</u>その他には、<u>市民の皆様が行政とともに緑地整備を行ってほしいというもの、意見交換の機会を設けてほしいというもの、相生山緑地独自の意義や位置付けといった基本的概念の確立を求めるものもありました。</u>また、下段から2段目にある天白区を住みよくする会の皆様からは、その他の9件と異なり、建設済みの道路を活用した緊急車両の通行や時間を区切っての一般車両の通行、緑地内の防火対策、周辺の通学路付近の交差点を進入禁止にすることを求める要望をいただいています。</p> <p>詳しくは原本の写しをご覧くださいと思います。議題3の説明としては以上です。</p>